

第593号



橋本村公民館：長野県下伊那郡橋本村6664



たかぎ

発行日 2018年 8月17日
 発行責任者 橋本村公民館長 徹
 市 瀬
 編集責任者 公民館編集部長 志
 仲田 久
 印刷 龍共印刷株式会社

公民館楽遊塾 第三講座 ダニエル・カール氏講演会

短い梅雨が終り連日の猛暑、皆様いかがお過ごしでしょうか？

さて、七月二十二日公民館楽遊塾第三講座ダニエル・カール氏講演会が行われました。演題を「今、できること〜がんばっぺ！オラの大好きな日本〜」とお話していただきました。

ダニエルさんは、高校生の時に奈良県大学生の時に大阪京都に留学を経験され、日本の食文化・人柄をとて気に入り、今、できること〜がんばっぺ！オラの大好きな日本〜とお話していただきました。

その反面、方言の楽しさおもしろさを知ったそうです。赴任先の山形県で山形弁について調べはじめ、山形弁研究家としてメディアに出演されるようになったそうです。

また、日本が好きになった理由には、色々な種類の食べ物、くだものがあり、場所によって味の違いがある事例え、東日本では濃い味、西日本では薄味で、大好きな漬物を食べるとすぐにわかるそうです。

しかし、日本人はそのようならずばらしい日本や地域を周りの人に自慢しない事がとても残念だそうです。「日本人は自慢をする事は良い事ではない」と思いますが、自分のふるさとを色々なところで自慢することも自分も周りの人も日本を

好きになる」とおっしゃっていました。

また、終盤には、二〇一一年に起きた東日本大震災後は、物資提供や、原発事故等に関する誤りの報道の多さ

を知り、インターネットで英語と日本語で正しく伝える活動もなされているというお話もしてくださりました。

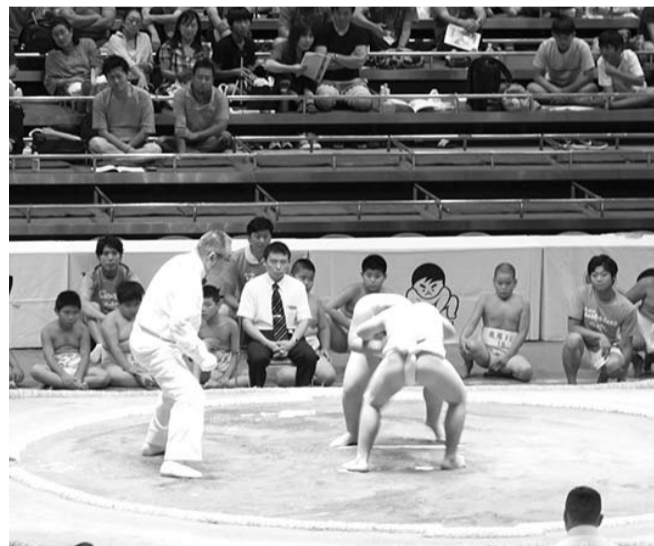
日本人以上に、日本のあらゆる事に詳しいダニエルさんのお話しを聞いて、改めて日本のすばらしさを再確認しました。山形弁を流暢に話し、おもしろおかしく笑いのあるすばらしい講演でした。



日本のすばらしさを語るダニエル・カールさん

わんぱく相撲 がんばるぞ

七月二十三日、第三十四回わんぱく相撲全国大会に出場する選手の激励会が行われ、第一小学校四年生の小澤結君に激励金が授与されました。小澤結君は五月に開催された飯伊わんぱく相撲大会に出場し、準優勝、県大会進出を決め、県大会では四位入賞を果たし、小結として七月二十九日に両国国技館にて開催された全国大会に出場しました。



はっけよい、残った！



激励会にて

あの時

先月初め、オウム真理教祖麻原彰晃こと松本智津夫死刑囚他、七人の死刑が執行された。二週間後、残り六名の死刑も執行され、オウム事件の一つの区切りがついたと言える。しかし、一ヶ月で十三名もの死刑が執行されることは極めて異例だ。死刑制度の存廃について様々な意見がある中、オウム関係死刑囚の死刑執行が急がれたのはなぜなのだろうか。

松本サリン事件が起こった平成六年、私は松本のF中学校に勤めていた。とても蒸し暑い夜だった。夜遅くまで仕事をし帰宅に向かっている歩いていた私は、警察官に呼び止められて職務質問を受けた。名前はもちろん勤務先、なぜこんなに遅いのかなど、ねほりはほり聞かれていやな気持ちになった。翌朝、薬物が原因とみられる中毒事件が起こったことが分かった。その現場は河野さん宅。

河野さんが犯人であるかのような報道がされたのだ。私の勤めていた学校には河野さんの娘さんが通っていた。事実にはつきりしないが娘さんが無関係であることは確か。娘さんを守る、この一点で職員意志統一をはかり、対応したことを思い出す。

麻原彰晃の遺骨を誰が引き取るかでもめている。東京拘置所がオウム真理教の聖地とされるのではないかと心配されている。死後もなお大きな影響力がある現実を見ると、オウム事件の真相が明らかになることなく幕引きされてしまったが、これだけのだろるかと思わざるを得ない。(館長)

『棕鳩十ものがたり』 53

『棕鳩十全集』 掲載作品

棕鳩十顕彰会 久保田 毅

棕鳩十全集六
「底なし谷のカモシカ」
昭和四十四年十二月

身近にそびえる赤石山脈での物語です。十五才の武夫は、父たちと猟犬をつれて、五十匹ちかいカモシカのを追っているのです。

むれをひきいている年とつたカモシカが朝の空気をすいこんだ時、猟犬のにおいがか

ます。「年とつたカモシカは、パシパシパシとこおった雪をひづめでたたきつけました。それはかれらの危険信号です。五十匹のカモシカはいちどにはねおき、三びきのカモシカにみちびかれて、走りだしました。が、猟犬たちにとりかこまれておりまして……このまま進めばカモシカの大群はせんめつです。この時、年とつた二匹のカモシカは

ふしぎな行動をとり、この間に、カモシカの大群は、無事にけることができました。「猟犬は、カモシカの大群はそつちのけにして……二匹の年とつたカモシカをおつかまわすのでした……武夫は二匹の年とつたカモシカの行動を、身動き一つせずに見つめていたのです……口笛をならして、猟犬に集まれるの合図をい

たしました。た犬どもがとまどっている間に、二匹のカモシカは、谷間めがけてかけこみます。

狩人たちは狩りのしかたを確認します。「狩人は古ぼけた銃をそつともちあげました……武夫は……父と源太のかに手をかけて、二人のからだをぐつと後ろにひきましました……ねえ、おとうさん、あの岩だなの上のカモシカ、見て……あれを手にいれましよう……武夫は二匹のカモシカを助けたために、こんな口か

らでまかせをいきました……狩人のすがたを見ると、二匹の年とつたカモシカはぼつと岩からとびおいて仲間のいる岩だながけてかかれました。岩だなのカモシカの大群は、二匹のカモシカを迎えら……一匹残らず立ちあがりました」

岩だなの一方はいきとまり、一方から狩人と犬がせまつてきます。岩だなの下には銃を保持した狩人たちがまかまえています。カモシカの群れはどろりとうしろ向きになります。その時、「三匹の年とつたカモシカがふしぎな動作をはじめました。水の壁にからだをぶつけるのです。ドドドッとする

「穴の中はまっ暗でした……いくら進んでも底なしかと思われほど、長い長い横穴でした……手さぐりで進んでいきます……三人は『あー』といって、体中にとりかかたつほど驚きました。穴の口から下は、底しれない深い谷です。そこには川がすじ光って

こども学遊館 お泊り体験



七月二十一日(土)・二十二日(日)にこども学遊館にて、昨年に引き続き三回目となる一泊二日のお泊り体験が、第一小、第二小の三年生・六年生の三十三名が参加して実践されました。

この事業は、子ども達が、親元を離れ、異年齢での集団生活を通して、自分のことは自分でする自立心や他人を思いやる心、家族への感謝の心を育て、「コミュニケーション」能力を高めることを目的に、喬木村社会教育委員会が企画しました。

今回も地域の大人に係わって頂くイベントとして、飯田OIDE長姫高校の先生、生徒とつくる「ペットポ



大鍋で作ったカレーライスで夕食



ペットボトルロケット発射!

星の観察
サンリギ、ハクチョウがきれいでした。金星がきれいでしたのしかったです。先生たちが、土星や木星、金星月を見せてくれて星のこ



望遠鏡で土星等を観察

感想文より
ペットボトルロケット
むずかしいところがあつたけどそれをのりこえたときがとて気持ち良かった。

お買い物
みんなと協力してちゃんと予算どおりになって協力はすごいと思つた。はんの人と協力して朝のメニューを決め、しっかり計算して買えてよかった。

振花や桃紅ねじり雨上がる
着慣れたる浴衣の疵の良き姿
夏帽子駆けくくる子等の陽のにはひ

七夕や希ひ切々つづる墨
風涼し踊り浴衣の香に酔ひぬ
折り鶴や平和を祈る原爆忌

降りしきり豪雨となりし青嵐
再会の病魔を越えし花うばら
稲妻の光に映ゆる里の木々

郭公や銜を返す峰の家
山百合の群生地より香の溢れ
暮れそめて家路へ急ぐ蟬時雨

文月句会詠草

喬木俳句会

西元くにこ
市橋 ヨリ
田中 君子
村山たか子

鳩十の傘の公園梅雨晴るる
海の日や風越山の雲の波
背をまるめ老いの祈りや原爆忌

迷ひなく雨に打たるる額の花
立葵見上げし頃の空無限
涼風やカーテン越しの影ふたつ

咲き満ちて風にこぼるる凌霄花
電線も垂るるかに見ゆ猛暑かな
夕月に青田煌めくそよぎかな

敷き白の煩惱を踏む紫陽花寺
虎杖の花に埋もれし廢線路
夕風に触れて明日待つ合歓の花

蛭袋墓誌に足さるる子の追諡
向日葵の高さに慣れし子の自転車
雉子鳴くや彼は騎乗の大正医

秦 恭子
松葉 孝子
原 美恵
吉川てる子
本山 栄信

平成30年度 喬木村夜間ソフト中間結果 (H30.7.31 現在)

平成30年度 喬木村夜間ソフトボール連盟 第44回大会リーグ戦 星取表

チーム名	上平龍王	伊久間K	富田L	富田B	北明神	勇龍	北久ら馬	南D	綿牛原S	伊久間G	両平	寺の前	綿牛原D	南志ら鳩	加々須	町馬OP	勝数	負数	分点	勝点
上平龍王	●																11	0	0	11
伊久間K		●															5	4	1	5.5
富田L			●														7	3	0	7
富田B				●													8	1	1	8.5
北明神					●												10	1	0	10
勇龍						●											4	7	0	4
北久ら馬							●										2	9	0	2
南D								●									5	6	0	5
綿牛原S									●								4	6	1	4.5
伊久間G		●								●							5	5	1	5.5
両平											●						3	8	0	3
寺の前												●					3	7	0	3
綿牛原D													●				4	6	0	4
南志ら鳩														●			4	6	0	4
加々須															●		1	9	0	1
町馬OP																●	6	4	0	6

※1勝=1 引き分け=0.5で加算(同点の場合 ①勝数の大 ②負数の小 ③以上で同じなら同順位
ただし、1位の決定は直接対決による。引き分けの場合は決定戦を行う)
印:●勝ち、●負け、△引き分け、□不戦勝、■不戦敗

編集後記
この猛暑はいったいどうしたのだらう。今までに聞いたことのない四十度越。この先、日本で生きていけるのだらうか。
それでもひとつだけ有難いことは蚊が少ないこと。蚊は三十五度以上になると発生しづららしい。
しかしとうとう一晩に三ヶ所も刺されてしまった。ちよつと涼しくなってきたのだらうか。また夜中の戦いが始まる。

読み聞かせ
さいしよの「金のうで」が一番よかったです。さいこの「それはおまえがもつている」というところがびっくりしました。
朝ご飯について
自分たちが買った物を使ってつくれてよかった。自分たちで買ってきたのもおいしかったけど、おにぎりが一番おいしかったです。

各地の夏祭り 富田
去る七月二十八日(土)、「富田夏祭り」が行われました。大雨、猛暑と、異常気象が続いた七月の終わり、予想外の動きをして日本列島に近づいた台風の影響で、周辺のイベントは軒並み中止や延期になった中、気象情報とにらめっこで行われたお祭りでした。しかし、銀嶺太鼓では子どもたちの一生懸命な姿、また、今回はゲストとしてギターデュオのプラクテイーンズ、喬木フラメンコや大和知のフラガールなどもお祭りを盛り上げていました。
子どもから大人まで、一緒になって盛り上がる、アットホームで楽しい夏のイベントとなりました。

公民館楽遊塾第4講座 七宝焼き教室のご案内
公民館楽遊塾では今年度第四回目の楽遊塾として「七宝焼き教室」を行います。七宝焼きとは、金属工芸の一種で伝統工芸技法のひとつ。金属を素地にした焼き物ともいえます。金、銀、銅、鉄、青銅などの金属素地に釉薬を撰氏八百度前後の高温で焼成することによって融けた釉薬によるガラス様あるいはエナメル様の美しい色彩を施すものです。
普段なかなか体験することのできない工芸技法でありますので、ご家族、お友達等をお誘い合わせの上ぜひご参加ください。
日時：九月三十日(日) 十三時〜十七時
場所：福祉センター二階料理教室
講師：賜洋子さん、木下和子さん、河西美津恵さん
参加費：千円
内容：七宝焼き体験(ペンダント、キーホルダー等製作)持ち物：ポケットティッシュ、古八ガキ(下敷き用)
募集人員：十五名程度
募集期間：九月二十日まで